

## 名君の条件①

一 龍齋貞花  
講談師

無税国家論を述べられた松下幸之助翁の松下政経塾で学んだ野田総理。国家無税はむつかしいにしても、増税は政治家でなくても出来るといわれたはず。総理はいったい何を学んだのか。

埼玉県朝霞の国家公務員宿舎、仕分けで建設中止を決めながら、総理が財務大臣当時建設を復活。5年間の中止で工費105億円のうち40億円は契約上の支払で消える。国家公務員60万人の1/3にあたる20万戸の宿舎があるというのに。2千年以降多くの企業が社宅を廃止している。公務員宿舎を建てるなどはいわないものの、人気取りの仕分劇場で踊り経費をどれだけどぶに捨てていることか。地方の合同庁舎も建てないといっておきながら、あっさりの予算計上。

法人税引き下げのはずだったが、震災後は引き上げ、電気、ガス、小麦、乳製品、野菜、紙等目白押し、復興増税額も

アバウトな数字。円高、株安、もの作り日本はどうなるのか。中小企業も外国進出。雇用はますます下がるばかりか、リストラ拍車、景気が上昇するはずがない。所得税増税で夫婦と子1人の年収700万の家庭は1万2千円の負担増額というが、たばこをはじめ値上げによる買物費アップ分の負担はどれだけになるか。

消費税は10～15%上げるべきといわれる経営者もあるが、売る時は内税、買う時は外税も少くない現状。私どもの仕事、講演料消費税支払われるのはわずか、源泉税も込み、おまけに講演料ダウンも少くない現状です。国民に大増税を強いながら国会議員の歳費削減も終了。議員も苦しいといわれるが、4億どころか10億自分の財産といわれる豪腕は、どうやってお稼ぎになったんでしょう。菅前総理でさえ首相分給与とボーナス全額返上していった。もっとも菅先生のお遍路にSP同行、SPは個人負担ではない、なぜ個人の行為に税金を使わなければいけないのか。企業のトップが個人旅行に社費を使いますか。

大震災に、アメリカ、ヨーロッパの経済不安定も影響してるといいますが、国民の生活安定、国の安全を図るのが国会議員の務めであるはず。

愚痴の前説が長くなったが、名君と名を残す大名の税対策はどうであったか。かつて税務大学校で講師を務め、法人会他で税の在り方を講演している貞花の、

歴史上の税制を数回にわたってご紹介することと致しましょう、ポポンポン

### 租税免除の仁徳天皇

民のかまどから煙の上がるのを見て喜ばれた仁徳天皇というのが一般に知られているが、実は3年前かまどから煙が上がっていないのをご覧になって、民が苦しいのであろうと租税免除の優遇税制、かくして3年後、民のかまどから煙の上がるのをご覧になって安堵されたのです。茨田堤（大阪府）という古代に堤防を築かれ水害対策もなされていますぞ。

### 大改革の大化の改新

645年中大兄皇子（天智天皇）と中臣鎌足が中心となって行った政治改革。

氏族が領地と部民・奴婢を有していた。幕藩時代の大名に似ているが、大化の改新によって土地私有は禁止され、氏族の領地はすべて国有化。そして民に対し国有化した土地を貸し与える。総ての民6歳以上男2段<sup>(注)</sup>、女はその2/3の土地を死ぬまで国から与えられた。奴婢（下男下女）は一般の1/3という差別はあったが、国が国民の生涯の生活保障をした画期的な制度で、国民年金や生活保護制度制定以前で、国民の生活が国によって保証されたのはこの時代だけである。前号までお読み頂いた名君保科正之の民のための政<sup>まつりごと</sup>はかなり似ている点があります。

### 聖武天皇の政<sup>まつりごと</sup>に対する心情

大地震、病気、旱魃、飢饉、毎年のように災害が起き沢山の人が死んでいる、私の政治が悪いからだ、天が罰を与えているのだ。政治がよければ皆が幸せになって罪を犯す人はいなくなる、しかし今牢屋に囚人が満ちているのは私の責任、責めはわれ一人にあり。とまでいわれました。現在の状況と同じではありませんか。天災だから仕方がないのではなく、私の政治が悪いからと反省された聖武天皇。そのお心が東大寺大仏殿を建立し、民の幸せを祈られたのです。

今の為政者、災害や国民の苦しみを自分の責任と反省する心、有りや無しや。

明治天皇も、「おのが身はかへりみずして人のため、つくすぞ人のつとめなりけり」と仰せられました。

会社の経営者が苦しい時、国の政治が悪いからどうしようもないと、逃げることは許されないでしょう。社員の給料ダウン、リストラも存続のため致し方ないかもしれませんが、なんとしても経営を安定させ雇用を保持し社員の生活を考えるのが真の経営者でありましょう。

民を富ませ、税を削減した大名が名君として名を残しているのです、次号より戦国大名に学ぶ税制、名君の条件をお読み頂くことに致しましょう。

(注) 当時は「反」ではなく「段」と称していたようです。一区切りということだと思います。